

# AFV-2N,3型 吸排気弁

製品記号 AFV2N-F(青銅製)  
AFV3-D(ステンレス鋼製)

水道法適合品 東京都水道局・名古屋市上下水道局・都市再生機構対応品

## 直結給水 圧送・圧力タンク給水 など パイプシャフト頂部に

吸排気弁は給水配管が負圧になると多量の空気を吸込み、負圧を解消して給水先からの逆流を防止します。

常時は配管中の空気を自動的に排出しますので、パイプシャフト頂部に最適です。特に直結給水や圧送圧力タンク給水方式で、安全な給水システムを構築できます。

呼び径20：立て管最大管径40まで、  
呼び径25：立て管最大管径50まで、  
1台で逆サイホンを解消。

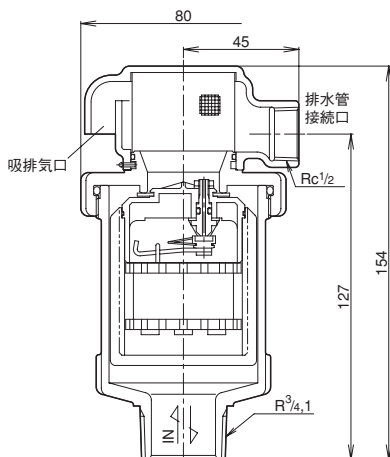


AFV-2N型



AFV-3型

### ■構造図



### ■特徴

- 負圧発生時の空気吸入量が多い。  
(急速吸気機能<sup>注1</sup>)
- 圧力下で確実な空気排出作動。  
(圧力下排気機能<sup>注2</sup>)
- 初期通水時の空気排出量が多い。  
(急速排気機能)
- 排気時に水の排出がありません。
- 空気導入口と回転自在の漏水対策用排水口を独立設置。
- 吸気部にネット内蔵。
- ステンレス給水管に最適なステンレス鋼製。(AFV-3型)

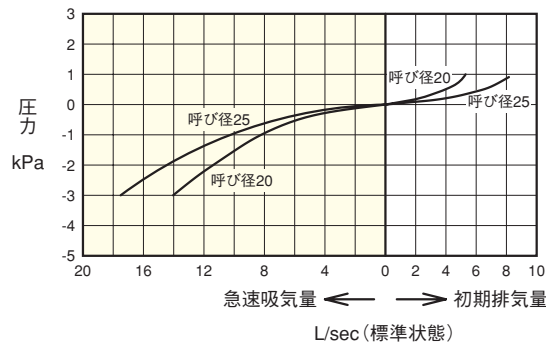
注1. 吸気量には基準があります。  
注2. 圧力下排気機能のない吸排気弁を使用する際は「空気抜弁」を併設しなければなりません。

### ■仕様

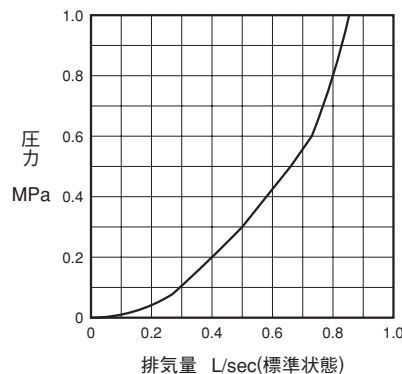
種類	青銅製	ステンレス鋼製
型式	AFV-2N型	AFV-3型
製品記号	AFV2N-F	AFV3-D
呼び径	20・25	
適用流体	水道水	
流体温度	5~40℃	
適用圧力	0.01~1.0MPa(弁の入口側圧力は、常時0.01MPa以上確保してください。)	
吸気量	急速吸気タイプ 呼び径20：13 L/s(標準状態)[弁差圧2.9kPa時] 呼び径25：17 L/s(標準状態)[弁差圧2.9kPa時]	
端接続	入口：JIS Rねじ <sup>注2</sup> 、排水管接続口：JIS Rc <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ねじ	
材質	本体	CAC406
	弁座	CAC406C
	内部	ディスク(合成ゴム)、フロート(ポリプロピレン)
本体耐圧試験	水圧にて1.75MPa	
取付姿勢	鉛直取付	
質量	1.3kg	1.2kg

注1. 吸排気口一体形のAFV-2AN,3A型も製作しています。(吸気量は異なりますのでお問い合わせください。)  
注2. 管端コアに対応しています。管端コア使用時、呼び径20：吸気量 8 L/s(標準状態)[弁差圧2.9kPa時]  
呼び径25：吸気量15 L/s(標準状態)[弁差圧2.9kPa時]

### ■急速吸気量・初期排気量線図



### ■圧力下排気量線図



注. 選定につきましては252頁をご参照ください。

# 資料 / AFV-2N, 3型 吸排気弁

## ■吸排気弁の選定

● 吸排気弁は給水立て配管の負圧を解消する目的に使用します。作動頻度の高い機器・タンクの負圧解消の目的に使用する場合は、AF型空気抜弁とVD-5N型バキュームブレーカを併用して使用してください。

● 吸排気弁は給水立て配管の負圧を解消する為に必要な吸気量を満足できる呼び径、台数を設置します。

注. 事業体によっては、本頁の配管例とは異なる設置基準の場合もありますので、ご確認ください。

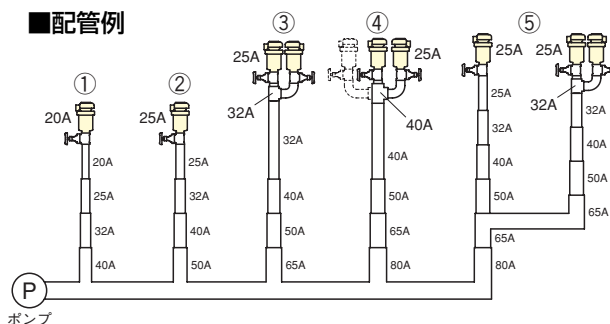
## 参考

### 給水立て配管に求められる必要吸気量 (-2.9kPa時)

立て管呼び径	必要吸気量 [L/s (標準状態)]
20	1.5
25	2.5
32	4.0
40	7.0
50	14
65	25
80	33.4

注. 呼び径20~50は都市再生機構・名古屋市上下水道局、呼び径65,80は社内基準値。

## ■配管例



配管例	立て配管最大管径	立て配管最上部必要最小管径	吸排気弁設置数 (呼び径)
①	20~40A	20A	1台 (20A)
②	50A	25A	1台 (25A)
③	65A	32A	2台 (25A)
④	80A	40A	2台 <sup>注1</sup> (25A)
⑤	80A	50A	1台 (25A)
	65A	32A	2台 (25A)

注1. 接続部に管端コア使用の場合は、3台設置。

注2. AFV-2AN,3A型の場合はお問い合わせください。

## ■AFV-2N, 3型 吸気量 (-2.9kPa時)

呼び径	吸気量 [L/s (標準状態)]	
	管端コア未使用時	管端コア使用時 <sup>注1</sup>
20	13	8
25	17	15

注1. 管端コアは付属していません。

注2. AFV-2AN,3A型の吸気量はお問い合わせください。

## ■取付・取扱上のポイント

- 取付位置は、給水器具の「あふれ縁」または「あふれ面」の上端から300mm以上、上方に取付けてください。
- 吸排気弁入口側圧力は常時0.01MPa以上を確保できる設備としてください。
- 吸排気弁は、鉛直に取付けてください。
- 取付ける前に配管の洗浄を十分に行ってください。
- 保守点検時に止水ができるよう、入口側に仕切弁、またはボール弁形式の止弁を取付けてください。(玉形弁不可)
- 万一の排水管接続口からの漏水に備え、間接排水で排水溝まで配管を導いてください。配管は同径の鋼管または塩化ビニル管をご使用ください。また、適切な支持および固定をしてください。
- 凍結が予想される場合は、保温するなど、対策を講じてください。ただし、吸排気口を塞がないでください。
- 万一、排水管接続口から水漏れが生じた時は、入口側の仕切弁、またはボール弁で水漏れを止めて点検してください。

